

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第2区分  
 【発行日】令和7年5月7日(2025.5.7)

【公開番号】特開2024-102696(P2024-102696A)  
 【公開日】令和6年7月31日(2024.7.31)  
 【年通号数】公開公報(特許)2024-142  
 【出願番号】特願2023-6764(P2023-6764)  
 【国際特許分類】

H 1 0 D 3 0 / 6 6 ( 2 0 2 5 . 0 1 )

10

H 1 0 D 3 0 / 0 1 ( 2 0 2 5 . 0 1 )

H 1 0 D 1 2 / 0 0 ( 2 0 2 5 . 0 1 )

H 0 1 L 2 1 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 1 L 2 9 / 7 8 6 5 2 K

H 0 1 L 2 9 / 7 8 6 5 2 T

H 0 1 L 2 9 / 7 8 6 5 3 C

H 0 1 L 2 9 / 7 8 6 5 8 K

H 0 1 L 2 9 / 7 8 6 5 8 F

H 0 1 L 2 9 / 7 8 6 5 5 A

20

H 0 1 L 2 1 / 0 2 B

【手続補正書】

【提出日】令和7年4月23日(2025.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

30

上述した実施例では、トレンチ22の側面が、第1側面23aと第2側面23bにより構成されていた。しかしながら、トレンチ22の側面は、例えば第2側面23bのみにより構成されていてもよい。また、上述した実施例では、トレンチ22の間隔が、半導体基板12の上面12aから下側に向かうにつれて小さくなっていたが、このような構成に限られない。本明細書に開示の技術では、半導体基板12の上面12aにおける第1トレンチ22aと第2トレンチ22bの間隔(換言すると、2つのトレンチ22間に露出するソース領域30の幅)が、最大値 $W_F$ よりも大きければよく、トレンチ22の側面の形状は特に限定されない。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

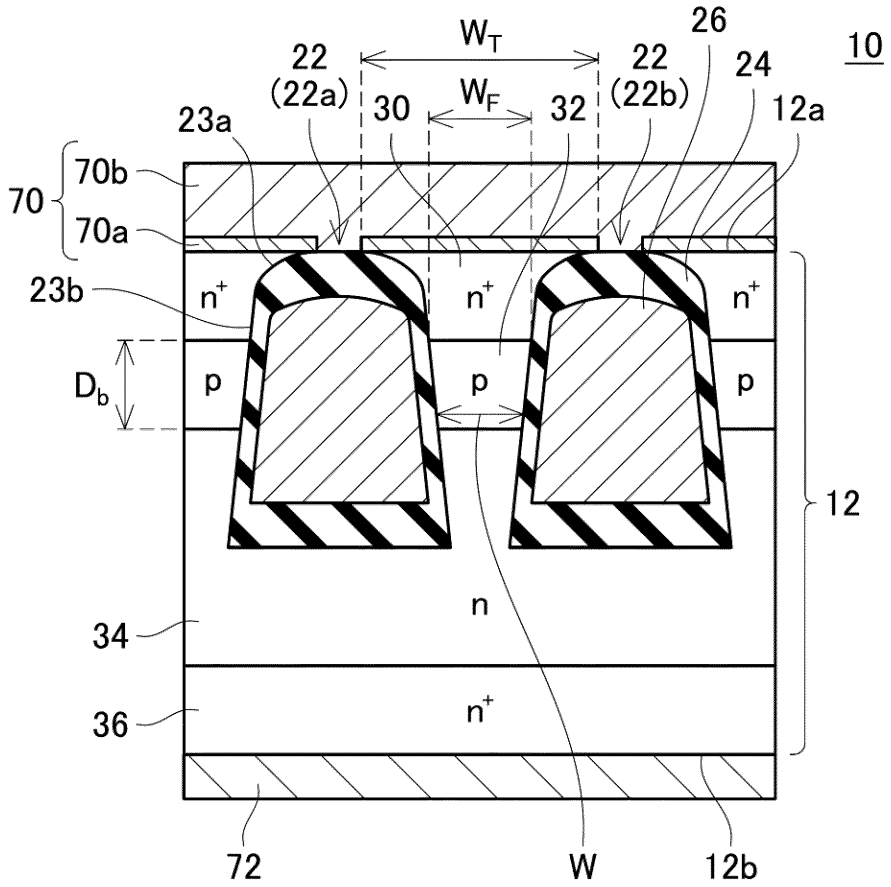
40

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 1 】



10

20

30

40

50